

日本家庭教育学会

平成30年度（第33回）大会のご案内

◆大会テーマ

《家庭教育支援のあり方を考える》

◆主 旨

「今日におけるわが国の家庭は、社会諸状況の急激な変化にともない、人間の家庭生活維持にかかわる様々な問題や課題を内包し、子供の家庭教育にも影響を与えつつある」というのは、本学会の発足（1986年）の際に出された〈設立趣意〉にある言葉です。それから30余年が過ぎた現在、その社会諸状況の急激な変化と影響は、いよいよ大きくなりました。文科省による〈家庭教育支援の具体的な推進方策について〉（平成29年）の中の言葉を借りれば、「家族構成の変化や地域における人間関係の希薄化」「ひとり親家庭の増加や貧困」などとして現れ、子育ての悩みや不安を抱えたまま保護者が孤立し、適切な家庭教育が困難な状況になってしまったと言えるでしょう。

今日、家庭教育支援の必要性が強く要求されているのはそのためです。2006年の教育基本法改定に基づいて、2013年の熊本県をはじめ、いくつかの都道府県や市町村で「家庭教育支援条例」が施行され、「家庭教育支援法」が国会で法案として検討されるなど、支援を具体的に推進しようとする動きが出てきました。しかし家庭教育支援の推進は、すでに指摘されているように、個人情報の問題、行政の縦割りの問題、家庭教育支援に携わる人材の確保などの課題も抱えています。

本大会では、熊本県で家庭教育支援条例を制定した立て役者である福澤光祐氏を講師にお招きし、家庭教育支援の意義や現状、そして方策や課題について学び、これからの家庭教育支援のあり方を考えてみたいと思います。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

◆日 時：平成30年8月18日（土）09：45～17：00

◆場 所：貞静学園短期大学

◆参加費（資料代）：1000円（懇親会参加者別途5000円）

◆時 程：

09：15 受付開始

09：45 開会式

10：00 個人研究発表

12：00 昼食・休憩（*常任理事会）

13：10 講演および全体会

講師 福澤光祐（ふくざわ みつひろ）氏

文部科学省 初等中等教育企画課 教育制度改革室専門官

16：40 閉会式・会員総会

17：30 懇親会

第33回大会 個人研究発表者募集

【応募資格】 日本家庭教育学会の正会員

* 「『家庭教育研究』寄稿規定」の改訂（平成28年4月1日より）により、＜投稿者は、原則として投稿に先立ち本学会大会もしくは本学会主催の研究会等において口頭発表をおこなった者とする＞、という条項が加わりましたので、『家庭教育研究』への投稿を予定される方は大会発表を申し込んでください。

【発表時間】 発表時間は20分、質疑10分とします。

【発表申込】 発表をご希望の方は、テーマ及び氏名・所属・住所・電話番号を明記の上、平成30年6月15日までに下記の連絡先までお申込みください。

【原稿提出】 発表原稿の提出締め切りは、平成30年7月20日です。なお、応募多数の場合には、大会準備委員会で選考させていただきます。申請者には発表用のフォーマットをお送りします。（発表原稿の他300～400字程度の要旨も提出してください）

【問合せ先】 研究発表をご希望の方は、下記までメールにてお申し込みください。

日本家庭教育学会事務局

〒102-8561 東京都千代田区紀尾井町4-5（一社）倫理研究所内

（5月以後の新住所）

E-mail : jimuh@hesoj.com